

ONLINE SYMPOSIUM

理工系進路選択 応援シンポジウム

参加費
無料

2024.2/18 [日] 10:00-16:00

申込期間 1/16 [火] 10:00 → 2/16 [金] 17:00

※定員に達した場合申込を終了します。

対象者: 中高生 (学年は問いません) 及びその保護者

オンライン ガイダンス@Zoom

先着
申込順
150名

理工系学部や理工系選択後の進路・キャリアなどを紹介するとともに、様々な視点から見た理工系の魅力や各々の理工系へ進んだきっかけなどについてお話しします。

オンライン ワークショップ@Zoom

先着
申込順
150名

理工系分野で学ぶ現役の大学生や社会人の先輩が参加。進路のこと、大学生活のこと、お仕事のことなど、なんでもこの機会に聞いてみよう！

開催プログラム

◆ 基調講演

10:00~10:50

[テーマ] 「迷ったら理工系へ！
軽い気持ちで行ってみよう」

講師 筑波大学
システム情報系 准教授 佐野 幸恵 氏

◆ パネルディスカッション

11:00~12:00

[テーマ] 「理工系って何するの？」

ファシリテーター 科学ジャーナリスト 東嶋 和子氏

物質・材料研究機構 株式会社バスクリン 茨城大学
若手国際研究センター つくば研究所 地域未来共創学環担当
リサーチフェロー フェロー 工学部 教授
平井 悠一氏 石澤 太市氏 鈴木 智也氏

◆ ワークショップ

14:00~16:00

[テーマ] 「理工系のあれこれ
聞いてみよう！」

ファシリテーター 科学ジャーナリスト 東嶋 和子氏

株式会社エイゾス 研究開発部長
河尻 耕太郎氏

トモエ乳業株式会社
管理部総務課 課長
生田目 尚人氏

茨城県立医療大学
看護学科 准教授
本村 美和氏

現役大学生

事前申込が
必要です

ガイダンス 先着申込順150名
ワークショップ 先着申込順150名

◆ お申込み・詳細はこちら

https://im96130.mixh.jp/ibaraki_rikou2023/



●本シンポジウムはWeb会議システム「Zoom」を使用して行います。あらかじめ、アプリ版Zoomをインストールください。(https://zoom.us)
●募集締切の2月16日までに、Zoomでの本シンポジウムの参加方法、参加URL、注意事項等をメールにてお送りいたします。詳細は裏面を参照ください。

主催 茨城県

後援 茨城県教育委員会



理工系進路選択応援シンポジウム

基調講演

10:00-10:50



「迷ったら理工系へ！ 軽い気持ちで行ってみよう」

講師 筑波大学 システム情報系 准教授 **佐野 幸恵氏**

「迷ったら理系」というのは、私が高校の頃に母からかけられた言葉です。今となっては、その言葉が転機となり今に至ります。ちょっと行ってみようかな、そんな気持ちで十分。とりあえず行ってみよう！

講師プロフィール

つくば市在住・愛媛県出身。筑波大学システム情報系 准教授。高校時代フィールドホッケー部でインターハイに出場。(なお、3回勝てばインターハイに出場ができた)。奈良女子大学で物理を専攻後、消防システムのエンジニアを経て、東京工業大学大学院へ進学して博士号を取る。専門はネットワーク科学や社会経済物理。「科学技術への顕著な貢献2020(ナイスステップな研究者)」に選定される。読書好きで、日経 星新一賞の審査員も務めた。子供の頃の夢は天文学者か宇宙飛行士。小一男子の母。

パネルディスカッション 11:00-12:00

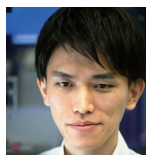
ファシリテーター



科学ジャーナリスト
東嶋 和子氏

1985年筑波大学比較文化学類卒業。在学中、米国カンザス大学留学。読売新聞記者を経てフリーランス『人体再生に挑む』『死因事典』『放射線利用の基礎知識』『遺伝子時代の基礎知識』『メロンパンの真実』『水も過ぎれば毒になる新・養生訓』等、著書多数
元筑波大学非常勤講師、元青山学院大学非常勤講師元、東京ガス社外監査役
日本原子力学会優秀活動賞受賞
外務省外交フォーラム外務大臣賞受賞

パネリスト



物質・材料研究機構
若手国際研究センター
リサーチフェロー
平井 悠一氏

2017年に北海道大学(応用化学)にて博士号取得後、アメリカのノートルダム大学(航空宇宙)で1年、フランスのパリ=サクレ大学(光物理)で3年の研究員を経て、2021年から現職(材料科学)。400年前から知られる「力を加えると結晶が光る」現象の解明・応用に従事。
高2の夏休み、SSH事業で訪れたNASAで運良くスペースシャトル帰還を目撃。何となく理系に留まるも、当時から数・物が大学の苦手で受験の得点源も国・英でした。何に惹かれどう選択したか、お話しできればと思います。



株式会社バスクリン
つくば研究所
フェロー
石澤 太市氏

健康に関する研究開発に携わりたいという思いで株式会社ツムラに入社し、医薬部外品および化粧品製品の製品開発に関する様々な業務を経験。その後、分社化に伴い株式会社バスクリンに転籍し、生活習慣である入浴の効果を科学的に証明するべく研究活動に従事する。科学的エビデンスに基づいた健康に繋がる入浴法や入浴剤の効果を発信することで、人々の健康維持・増進に貢献できることが喜びである。
金沢大学大学院自然科学研究科修了、博士(薬学)取得。



茨城大学
地域未来共創学環担当
工学部 教授
鈴木 智也氏

物理学で博士号を取得後、東京電機大学助手、同志社大学講師、茨城大学准教授を経て、2016年より同大学教授。
データサイエンスや機械学習によるビジネス活用を研究テーマとし、その社会実装として自社ベンチャー代表取締役や国内資産運用会社研究員を兼務。
次年度から新設する地域未来共創学環を通じて地域の活性化に目覚める。
地域活性化学会会員、水戸ホーリーホックサポーター。

ワークショップ 14:00-16:00

ファシリテーター

科学ジャーナリスト
東嶋 和子氏



株式会社エイソズ
研究開発部長
河尻 耕太郎氏

株式会社エイソズ創業者。東北大学・大学院で機械知能工学を学び、2005年3月に博士課程を修了。2005年4月に産業技術総合研究所(産総研)に入所。環境影響評価やエネルギーシステム解析、機械学習など、主にデータサイエンスに関する研究を行う。2011年から2013年までボストンのMIT、2019年から2020年までパリのOECDで勤務。2014年に株式会社エイソズを設立し、産総研と兼業しつつ、AIやデータサイエンスに関する研究開発・コンサルティングを行う。

講師

トモエ乳業株式会社
管理部総務課 課長
生田目 尚人氏

1997年に杏林大学社会科学部(現総合政策学部)を卒業後、つくば銀行(現筑波銀行)に入行。融資係・営業係として勤務し地域貢献・地域発展を意識して活動。在職中に簿記やファイナンシャルプランナーの資格を取得。2013年にトモエ乳業に入社し「医食同源」の経営理念に感銘を受け、乳業メーカーに勤めております。現在は管理部総務課に属し、直接製造に携わる部署ではございませんが、安全で安心な商品作りに関わる従業員の働きやすい環境作り日々邁進しております。

茨城県立医療大学
看護学科 准教授
本村 美和氏

筑波大学にて博士(看護科学)を取得後、県立医療大学で看護学科の教員として勤務。「看護とイノベーション」という気持ちを大切に、看護職の立場からモノ作りやケアの価値を創造し普及していくという大きな夢の実現について取り組んでいます。もちろん、この過程で試行錯誤や困難もあります。しかし常に自分の目標に向かって努力を続けることが大切です。忍耐力と情熱を持ちながら夢を実現していくことは楽しいですよ。ワークショップを通して、夢を考える時間にしていきましょう。

WEBフォーム
から申込



上記QRコードから
フォームにアクセスして
お申込み下さい。



申込後事務局より
メールでご案内



事務局から
メールにて参加に関する
情報をお知らせします

ガイダンス
ワークショップへ参加



当日はご案内の情報を
ご確認のうえ、スマートフォンや
パソコンでご参加ください

お申込から
参加までの
流れ

【問い合わせ】茨城県 産業戦略部 技術振興局 科学技術振興課

TEL.029-301-2532 E-mail : kagaku01@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県